

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科	
科目名称	食農教育実習			授業形態	実習	
科目コード	310006	単位数	1単位	配当学年	実務経験教員	
担当教員名	竹之山 慎一				ICT活用	○
授業概要	<p>健康な生活を支える「食」の多くは、農業や園芸生産により生み出されている。しかしながら、現代農業では、生産性や経済性を追求するあまりに作物や家畜の生産活動が環境や人の安全に影響を及ぼしている。講義科目である食農教育では、慣行農業の問題点を整理するとともに、農業・園芸生産の仕組み及び問題の解決策を学び、21世紀の農・園芸が進むべき方向を理解することを目的として開講されている。</p> <p>その講義と並行し、本実習を受講し、農場から食卓へ～from Farm to Table～が見渡すことができ、集中講義として学外での実習体験を通じて「食」と「農」との関わりについての素養を身につける。この実習を受講することにより、本学の「食」と、食の生産地である宮崎の「農」に関する知の連携により食文化・農業の発展に貢献できる素養を付け、栄養士・管理栄養士として重要な知識を得ることを目標とする。</p>					
関連する科目	食農教育の他に食品学・調理学等の管理栄養学科の必須科目全般を前後に履修することが望ましい。					
授業の進め方と方法	学外での農業体験を中心としてアクティブラーニングを取り入れた実習を行いながら指導を行う。さらに「食」や「農」に関連する各種行事等にも参加し学びを深められるようにする。発表等を行う場合には、パワーポイントによるプレゼンテーションを用いた授業を展開します。ICTの活用のために、小テストや課題、授業内容のフィードバックをユニバーサルパスポートの授業ツール（クラスプロフィール）を活用して行います。					
授業計画【第1回】	<p>食農教育実習の授業計画は以下のような概要となる。</p> <p>なお、食農教育実習にて扱う農作物等については年次的な変動、季節的な変動、気候の影響および豊凶の違い等もあるので、実習の時期などを勘案しながらその都度決定していく。</p> <p>第1～2回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等</p>					
授業計画【第2回】	第3～4回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等					
授業計画【第3回】	第5～6回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等					
授業計画【第4回】	第7～8回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等					
授業計画【第5回】	第9～10回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等					
授業計画【第6回】	第11～12回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等					
授業計画【第7回】	第13～14回 学外での農作物植え付け等の体験、それらの作物の学習・質疑応答・振り返り等					
授業計画【第8回】	第15回 実習にて学んだ農産物を中心とした食材で作成したレシピにて調理実習					
授業の到達目標	この実習を受講することにより、本学の「食」と、食の生産地である宮崎の「農」に関する知の連携により食文化・農業の発展に貢献できる素養を付け、栄養士・管理栄養士として重要な知識を得ることを目標とする。					
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)					
授業時間外学習【予習】	【予習】教科書・参考書等を熟読し、講義内容を把握しておくこと(1hr)。					

授業時間外学習【復習】	【復習】講義内容や配布資料を確認・復習しておくこと（1hr）。
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲・質疑応答-30点 2) 小テスト・レポート提出-50点 3) プレゼンテーション-20点
テキスト	特になし
参考書	特になし
備考	